

新駅附帯施設について

1. 協議経過

① 第4回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会〔R2.3.24〕

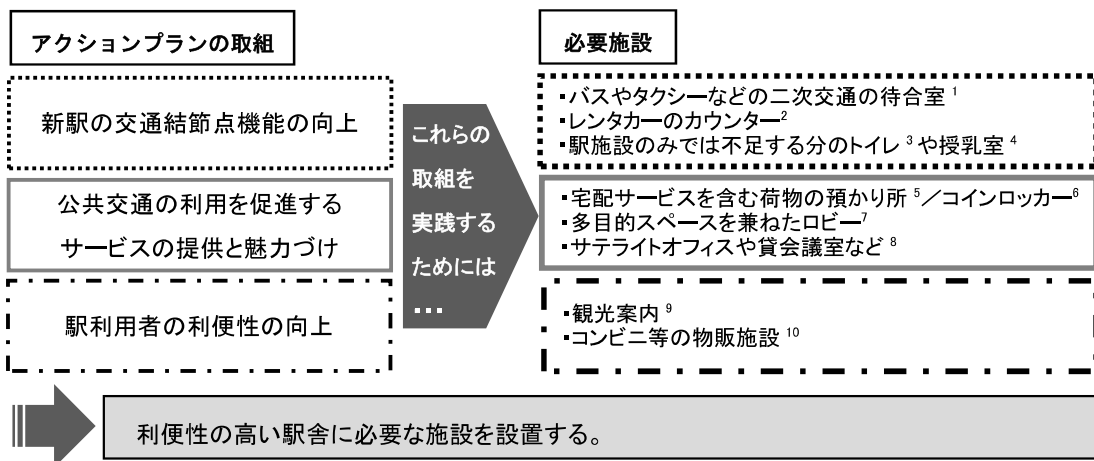
- 非営利施設(観光案内、情報発信)及びコインロッカーのみとしたレイアウト試案を提示
- 【意見】駅利用者の立場に立って考えると、駅舎内に物販や飲食施設が必要ではないか。
- ➔ 宿題として、これから1年間勉強していく。

② 第5回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会〔R2.10.28〕

- 検討状況の報告(コンビニ事業者への聞き取り、無人販売の事例紹介等)
- ➔ 無人販売等の可能性について調査研究を進めるほか、レイアウトに関して、JR北海道、鉄道・運輸機構(JRTT)、小樽市の三者協議を続けていく。

③ 第6回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会〔R3.1.7〕

- 検討状況の報告(無人コンビニ視察報告等)、アクションプラン(原案)を提示
- ➔ アクションプランを実践していく上で必要となる、附帯施設用スペース(数百 m² 程度)の確保を JRTT に要望していく。



④ 第7回北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会〔R3.3.22〕

- JRTT から 500m² 程度のスペースを確保する旨の回答があったことを報告
- ➔ 令和4年夏頃までに附帯施設レイアウト(原案)を固め、JRTT の駅舎設計と整合を図る。

⑤ 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会 第4回戦略会議〔R4.3.25〕

- 附帯施設レイアウト(原案)を提示
- ➔ 令和4年夏頃に JRTT が駅舎設計を発注予定 → 水回りの位置を確定する必要あり。次回協議会(親会)に附帯施設レイアウト(原案)を諮り、御意見を伺うこととする。

2. 附帯施設レイアウト(原案)

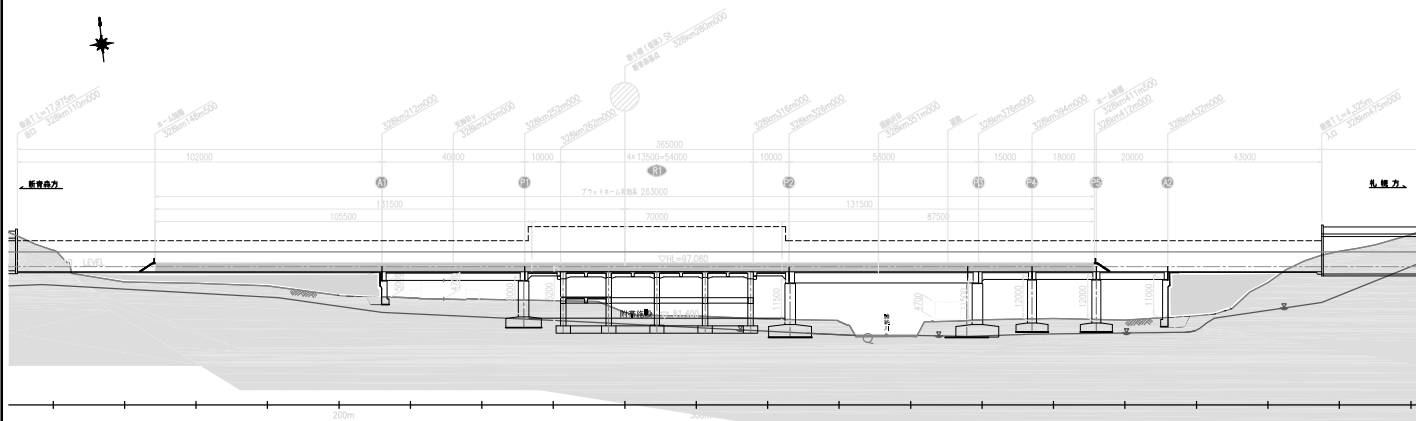
資料 3-2 参照

※ 面積の制約から、コンビニかサテライトオフィス(シェアオフィス)のどちらか一方を選択する

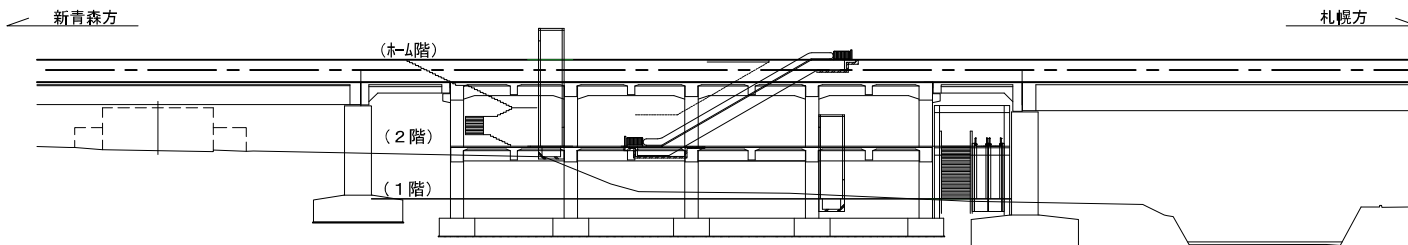
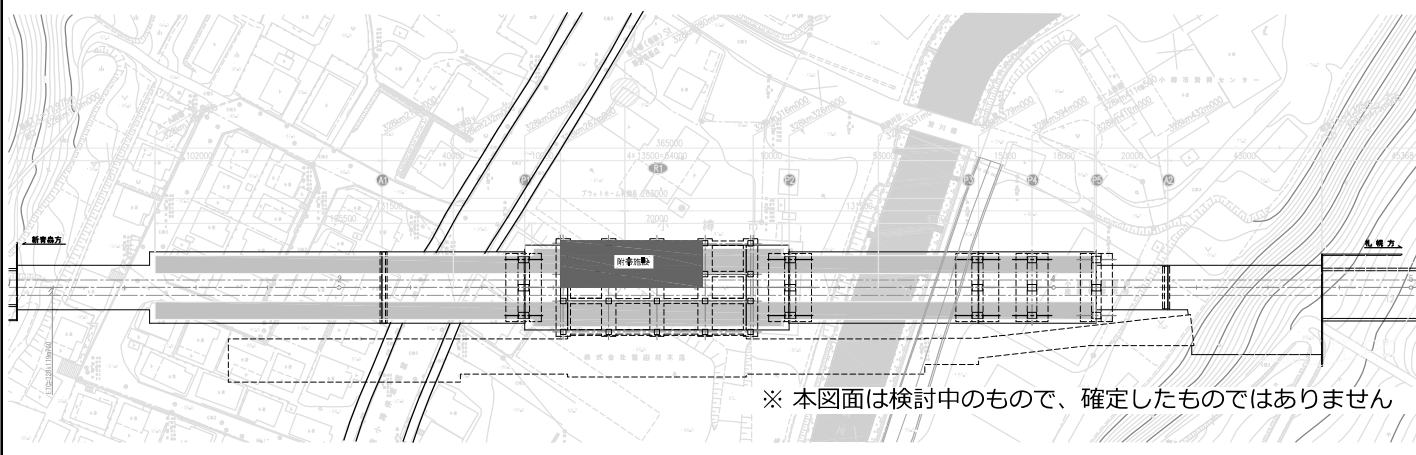
【参考】(各金額は目安であり、今後精査を進める)

- (1) イニシャルコスト ・約 1 億 5000 万円
- (2) ランニングコスト ・約 500 万円/年 (土地賃借料、光熱水費、清掃費)
- (3) 附帯施設貸付料 ・【例：コンビニ…115.55m²】約 15 万円/月(光熱水費除く)

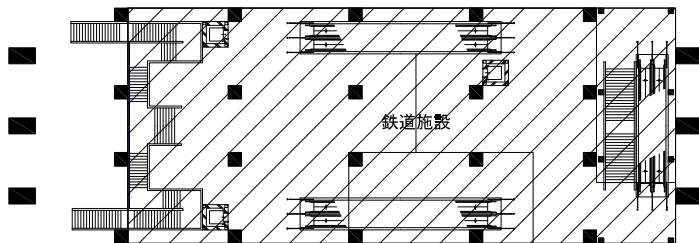
縦断面図



平面図

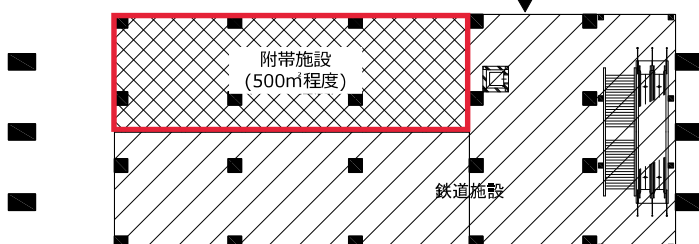


縦断面図



平面図（2階）

- 凡例
- 附帯施設 (小樽市都市施設)
 - 鉄道施設



平面図（1階）

※ 本図面は検討中のもので、確定したものではありません